学校番号	１００９

令和３年度　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「社会福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、「ふくし」の言葉の意味についてみなさんと一緒に考えていきましょう。
グループ演習等で対人援助のあり方について学び、自分の考えだけでなく他者の考えに気付けるよ
う社会福祉に関する基礎的な知識を習得していきます。
卒業後、福祉・介護・医療・保育分野に進みたい人にとって、必要とする基礎的な社会福祉に関す
る知識や技術を学ぶとともに「福祉の心」も育みます。
そして、自立とは何かを考え、自立生活支援のあり方を考えます。

２　学習の到達目標

・現代社会における社会福祉の理念と意義を理解する。
・要介護者や障がいのある人々の尊厳や権利擁護について理解するとともに、社会福祉を支える法制度に関する基礎的な知識を身につけ、防災に備えたまちづくりなど地域福祉の意義や役割を理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	社会福祉の現状と課題について分野別に学び、分野ごとの違いや共通点について理解するとともに、社会福祉の歴史的展開と地域福祉について興味･関心を持ち,意欲的に追求する態度を身に付けている。	今日の福祉社会の課題の解決に向け、自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切な思考･判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	社会福祉に関する基礎的な技術を身に付け、福祉に関する諸活動に対応することをめざしてその技術を適切に活用している。	現代における社会福祉の構造の変容や特色について理解し、福祉に関する基礎的･基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。
評価方法	小テスト 課題プリント ワーク ノート 観察等	ノートやワークシートの記述 定期考査等	ノートやワークシートの記述 定期考査等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	生活と福祉	少子高齢化と人口減少社会の到来 ・地域社会の変化 ・地域福祉と組織について ・疾病構造の変化と国民の健康づくり ・人の一生と社会福祉 ・生活と福祉 ・ライフサイクルとライフステージ ・ライフステージに応じた社会福祉 人間の尊厳と自立 ・人間の尊厳 ・自立生活支援と社会福祉 ・社会福祉協議会見学 ・防災に備えたまちづくり	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:生活と福祉における家族や地域の機能と役割の変化、ライフスタイルの変化や健康に関する考え方について関心をもち、探求しようとしている。 b: 生活と福祉におけるライフサイクルと年代に応じたライフステージがあり少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について思考を深め適切な知識と技術の基に判断しその過程や結果を適切に表現している。 c: 生活と福祉における人間の尊厳が生活支援の基本となる考えであることを理解し、自立とは何か、自立生活支援のあり方を考え、様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:生活と福祉における在り方や理念について国際的な福祉の考え方などを取り上げ、近年の防災の取り組みについての地域の取り組みについても理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査
1	社会福祉の理念	・日本国憲法と社会福祉 ・現代の福祉理念 ・社会福祉を支える諸原理 ・社会福祉の在り方や理念について ・近年の国際的な福祉の考え方 ・経済的救済中心から自立生活支援へと変化 ・先進的な諸外国の社会福祉の歴史と歩みについて諸外国の社会福祉 ・イギリスの社会福祉 ・アメリカの社会福祉 ・スウェーデンの社会福祉	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:社会福祉の理念として日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について関心をもち、諸課題について探究しようとしている。 b: :社会福祉の理念を学ぶうえで先進的な諸外国の社会福祉の歴史と歩みについて、変化してきた過程や結果を適切に表現している。 c:社会福祉の理念としてその国の経済史や文化史との関連についての様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:社会福祉の理念のなかで自然発生的な相互扶助から社会福祉が制度や事業として確立された過程を理解し、単に歴史を振り返るだけでなく関連について理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査

2	福祉社会の創造	・社会事業の成立と展開 ・社会福祉の誕生と発展 ・生活を支える社会保障制度 ・社会保障制度の意義と役割 ・生活支援のための公的扶助	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○	 ○ ○	a: 福祉社会の歴史と歩みについて学び、先の諸外国の社会福祉とあわせて考え概要と現状について探究しようとしている。 b: 福祉の理念としての現状と課題について分野別に学び、分野ごとの違いや共通点について理解させその過程や結果を適切に表現している。 c: 各福祉制度の意義や概要について憲法１３条や２５条と関連付けて理解し、制度に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d: 制度が生まれてきた背景や現状、課題ににについて理解し、解決するための学習活動をしている。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査
2	子ども家庭福祉	・児童福祉の原理 ・児童家庭福祉と社会福祉サービス ・少子化の推移と現状 ・子育て支援と社会のあり方 ・障がいのある子どもの福祉 ・子どものすこやかな成長と支援 ・市町村と児童相談所の役割 ・社会的養護と児童虐待への対応 ・子どもの貧困とひとり親家庭の福祉 ・子どもの権利と子ども家庭福祉	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:子ども家庭福祉と社会福祉サービスについて関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、人口の減少状況及び子育て支援の考え方や施策について探究しようとしている。 b: 子ども家庭福祉のしくみについて思考を深め、知識と技術をもとに判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 子ども家庭福祉と社会福祉サービスに関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:各制度が生まれてきた社会的背景、社会福祉サービスの現状と課題、人口の減少状況及び子育て支援の考え方や施策など児童家庭福祉と社会福祉サービスについて理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査

2	障がい者福祉	・障がい者福祉とは ・身体障がい者の現状と課題 ・身体障がい者福祉の推進 ・障がい者の生活支援 ・知的障がい者の現状と課題 ・知的障がい者の在宅支援と施設の役割 ・障がい者グループホーム・ケアホーム ・発達障がいをめぐる多様な課題と支援 ・精神保健と精神障がい者 ・精神障がい者の支援・長期入院から地域生活支援へ ・障がい者福祉の今後	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	a:障がい者福祉と障がい者自立支援制度について関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの概要と現状について探究しようとしている。 b:各制度の社会的背景、社会福祉サービスの現状と課題について思考を深め判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:障がい者福祉と障がい者自立支援制度に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:各制度の社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題など障がい者福祉と障がい者自立支援制度について理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査
3	高齢者福祉	・人口の高齢化と高齢者福祉 ・高齢者の健康保持と社会参加 ・地域高齢者施設見学 ・介護保険制度(1) ・介護保険制度(2) ・高齢者の在宅サービス(1) ・高齢者の在宅サービス(2) ・認定症ケア ・介護保険施設 ・老人保健施設その他 ・高齢者の地域生活を支える各種サービス ・高齢者福祉の将来～地域包括ケアの実現へ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:高齢者福祉と介護保険制度について関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、高齢者虐待などの問題について探究しようとしている。 b:各制度の社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題や高齢者虐待などの問題について思考を深め、知識と技術を基に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:高齢者福祉と介護保険制度に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、高齢者虐待など、高齢者福祉と介護保険制度について理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
（単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。